

PROSPECTIVE EMPLOYEES *Vol.13* MAGAZINE

内 定 者 マ ガ ジ ン



イ ン タ ー ン シ ッ プ

内 定 者 イ ン タ ビ ュ ー

OSTechのインターンシップって？

“市場価値の高いエンジニアとは？”をお題に3日間かけて学生間でディスカッションし、最終日に発表を行い、OSTechの社員たちからフィードバックがもらえるというプログラムです。今回はメンターとして参加した3人の内定者から、同じ内定者に向けたメッセージや、インターン活動秘話についてWEBインタビューを行いました♪

メンター制度とは？

OSTechのインターンシップ経由で内定が出た学生を中心に、翌年のインターンシップ参加者を補助し、インターンシップの運営を行う役割として活動するもの。ただ学生をサポートするだけではなく、どのように運営していくか、メンターメンバーは夜遅くまでミーティングを行うなどして結束を強めながら取り組んでいます。



あみ



田鎖



たつき

自己紹介

あみ：外国語・マーケティング専攻です。OSTechへは採用担当として入社予定。オーストラリア、ハワイ、アメリカに6年間いました！「教育格差をなくす」「労働環境を改善する」ことが働く目標です。

田鎖：経済経営学専攻、マーケティングや統計学などを学んでいます。文系の学びですが、技術職(エンジニア)として入社予定です。自分のやりたいことは何だろうって

考えた時に、今後の可能性を増やしていきたいと考え、OSTechのエンジニアとして挑戦していくことに決めました。4月からは大手半導体メーカーに配属予定です。

たつき：経済学専攻です。好きなことは野球、空手もできます！OSTechへは機電事業本部の営業職として入社予定。今はYoutube、Instagramなどでインフルエンサー活動に力を入れています！

メンターになった経緯とやってみた感想は？

田鎖：元々、自分がメンターをやると考えたことはなく、巳口さんに声をかけられてやりたい！って気持ちが芽生えました

(笑) 期待されてる感じがして嬉しかったです。「とにかくやれるものはやってみよう」精神でした。メンターをやっていなかったら、こうして同期と繋がることも、一つ下の学生さんと話すこともなかったと思うので良い機会でした。

あみ：私は就活生としてOSTechのインターンに参加した時に出口さんと出会って、その時からメンターやりたい！って思っていたんです。もう本当にずっと、どうしたらなれますか？って聞いていました(笑)なので、いざ誘われたときは嬉しかったです。メンターになった時には、“周りのために何ができるか”を考えていたけれど、

実際は教わることの方が多かったです。後輩の成長を見届けるのは感動するし、採用担当になる上での第一歩も踏み出せたかなと。総じて本当にやってよかったです！

たつき：僕は急に電話で誘われたんですよ。その時はみんなに誘っているんだと思っていたので、特別な役割だと気づいてなくて(笑) とりあえずやってみますの軽い気持ちで始めました。自分が3日間のインターンの参加者側だった時には、自分のことを客観視できるようになったと思っているし、その有意義な時間をメンターとして過ごすことで、更に意義のある3日間にできそうだと感じました。実際に活動を通して成長できたと感じますし、(今力を入れている) Youtubeなどの新しいことにもっと挑戦しようって思えたのは大きいですね。

田鎖：不安なことしかないよね（笑）

あみ：私も不安ばかりかも（笑）

たつき：自分は逆に不安はないかな。今ここで不安を抱いてもまずその環境に身をおいてみないと対処できないし、考えてる時間がもったいない。だから今自分にできることをやったほうがいいと思ってます。

田鎖：めちゃくちゃたつきっばい（笑）自分は何に不安を感じてるのか正直わかってないし漠然としてるかも。自分が学生じゃなくなるって事象に不安なのかもしれないですね。社会に出て自分で責任を負う立場になるし、知らない土地に行くこともそうだし。でもたつきの言う通り、今不安に思っても仕方ないし、結局なるようになる

社会人生活への不安はある？

だろうからポジティブにとらえてるかな。

あみ：私は自分が会社の役に立てるのか？っていう不安かな。自分が足を踏み入れるのが想像と違うかもしれない、“知らない世界”だから余計かも。でもOSTechは「新卒はわかんなくて当たり前、失敗から学んでいけばいいよ」という環境で待ち受けてくれていると思ってるから（笑）自分の目標をかなえるために挑戦したいし、一つ一つ学んでいきたいなって前向きに考えています！

01

SPECIAL SHOT



▶メンター3人それぞれの
普段の写真をいただきました！

02



03



目指しているものや理想の姿はある？

たつき：普段人ってテレビをみたり、周囲にいる人間を見ても“憧れ”になる前に終わることが多いと思うんですが、自分はそこで終わりたいくないです。他人から“憧れられる人”になりたい！それぞれの憧れの対象が違うからこそ、大人数からじゃなくてもいいので、誰かしらの“憧れ”になるのが目標ですね。

田鎖：「何でも屋」になりたいです。元々、データを集めたり、人の価値観を知ったりして色々分析するのは好きだったけれど、それを得られる環境って限られていて。でも今回みたいに新天地に身を置いてスタートを切れる機会はなかなか

あみ：みなさんは同期の顔が見えづらかったり、聞きたいことを聞きやすい人がいなかったりで不安に思うこともあるとは思のですが、私はこれから一緒に頑張っていく仲間として、みなさんに会えるのがすごく楽しみです！仲良くなりたいし、この記事を見て同じような志を持っている人がいれば声をかけてほしいです。ぜひ一緒に何かをしたいです！

たつき：やらなきゃいけないことが色々あって大変かもしれないですが、それらは誰しも通る道だと思います。心配すぎる必要はないんじゃないかな。社会人はこれから長いし、素のまま自分が楽しいと思える姿で、一緒に新生活を迎えま

かないから、たくさん吸収したい。

「困ったときは田鎖！」って言われるくらいの人になっていきたいですね。あとはいつか自分も採用担当に挑戦したいとも思ってます。

あみ：私は「あみがいてよかった！」と一人でも多くの人に言ってもらえる人になりたいです！自分と関わったことでその人の人生を変えるきっかけをつくりたいし、少しでも人生楽しくなった！って思ってもらいたい。今の目標（「教育格差をなくす」「労働環境を改善する」こと）を追いかける中でいろんな仕事をしていくと思うけれど、その中で関わる人たちにそう思ってもらえるといいなと考えています。

同期のみんなへのメッセージをどうぞ

しょう！

田鎖：誰だって、どんな道を選んでも、不安は出てくるものだと思います。自分がどんな可能性と出会い、どんな選択をするか今の段階では分からないけれど、結果的に後悔しても、良い結果に繋がっていきたくと思っています。これからは同期のみんなと一緒に、この“OSTechへの入社”という選択を良いものにして、未来を作っていきたいですね！

インタビューにご協力ありがとうございました！